



無線アンテナ配置の設定

- [無線アンテナ配置の設定 \(1 ページ\)](#)
- [URWB アンテナ別 RSSI 値の検証 \(2 ページ\)](#)

無線アンテナ配置の設定

Catalyst IW9167E は、複数のアンテナオプションをサポートするために、8 つの N 型メスコネクタを備えた 8 つの外部アンテナをサポートしています。アンテナポート 1、4、および 5 で、Self-Identifying Antenna (SIA) をサポートできます。無線機 1 はポート 1 ~ 4 に接続し、無線機 2 はポート 5 ~ 8 に接続します。アンテナの詳細については、「[Antennas and Radios](#)」を参照してください。

Catalyst IW9165E は、逆極性 SMA (RP-SMA) (f) コネクタで 4 つの外部アンテナをサポートしています。無線機 1 はアンテナポート 1 と 2 に接続し、無線機 2 はアンテナポート 3 と 4 に接続します。アンテナポート 1 と 3 は SIA アンテナをサポートできます。

Catalyst IW9165D には指向性アンテナが内蔵されていて、N 型 (f) コネクタで 2 つの外部アンテナをサポートしています。無線機 1 は内部アンテナに接続します。無線機 2 はアンテナポート 1 および 3 に接続します。アンテナポート 3 では、SIA アンテナをサポートできます。

以下の項では、さまざまな無線機モードの各アンテナのアンテナポートと利得を管理する CLI コマンドについて説明します。

アンテナ利得の設定

アンテナ利得を設定するには、次の CLI コマンドを使用します。

最大アンテナ利得値を、整数または文字列 UNSELECTED で設定します。

UNSELECTED の場合、バックグラウンドプロセスによって、サポートされている最小アンテナ利得が自動的に設定されます。



(注) SIA が接続されると、入力なしで利得が自動的に設定されます。

```
Device# configure dot11radio <interface> antenna gain <gain>
gain:
<1-19> antenna gain in dBi
WORD UNSELECTED
Device# write
```

送受信アンテナの設定

送信チェーンを設定するには、次の CLI コマンドを使用します。



(注) Catalyst IW9165 は abcd-antenna モードをサポートしていません。

```
Device# configure dot11radio <interface> antenna < A >
configure antenna chains (A) in use as follows
a-antenna - configure dot11 antenna a
ab-antenna - configure dot11 antenna ab
abcd-antenna - configure dot11 antenna abcd
Device# write
```

送信電力の設定

送信電力を設定するには、次の CLI コマンドを使用します。

最大送信電力レベルを設定します。AUTO の場合、バックグラウンドプロセスにより自動的に最大許容電力であるレベル 1 が設定されます。



(注) 8 が最も低い電力レベルで、1 が最も高い電力レベルです。

```
Device# configure dot11radio <interface> txpower-level <level>
txpower level:
<1-8> tx power level value
WORD AUTO
Device# write
```

URWB アンテナ別 RSSI 値の検証

Cisco UIW リリース 17.15.1 では、Catalyst IW9167E、IW9165E、および IW9165D アクセスポイントを対象とした、URWB アンテナ別の受信信号強度表示 (RSSI) が導入されます。この機能を使用すると、アンテナごとに測定された RSSI 値を個別に表示できます。複数の RSSI 値によって、無線インターフェイス上の各アンテナが受信した信号強度を個別に監視できます。

たとえば、Catalyst IW9167E の各無線機に 4 つずつアンテナがある場合、4 つのアンテナそれぞれの RSSI を個別に確認できるようになりました。この詳しい情報は、障害対応のための貴重な情報であり、個々のアンテナまたはケーブルで発生する可能性のある問題を特定するのに役立ちます。各無線機チェーンの RSSI を調べることで、特定のアンテナの異常の有無、または他のアンテナと比較した特定のアンテナのパフォーマンスの差異を判別できます。

表 1: 無線機チェーンとアンテナポートのマッピング

アクセス ポイント (Access Point)	無線インターフェイス	無線機チェーン	アンテナ ポート
IW9167EH	1	[A、B、C、D]	[4、3、2、1]
	2	[A、B、C、D]	[5、6、7、8]
IW9165E	1	[A、B]	[1、2]
	2	[A、B]	[3、4]
IW9165D	2	[A、B]	[1、3]

手順

AP の個々のアンテナの RSSI を検証するには、次のコマンドを使用します。

```
Device#show dot11Radio <n> wifistats rssi
```

<n> を適切な無線機番号に置き換えます。

例 :

```
Device#show dot11Radio 1 wifistats rssi
FC:58:9A:15:E4:D2
  MeshID 5.21.201.204 via R1
  rssi [-70, -69, -70, -71]
FC:58:9A:15:B9:12
  MeshID 5.21.200.80 via R1
  rssi [-70, -69, -70, -71]
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。